

2025年度 第2四半期決算報告



2025年10月30日
日本ゼオン株式会社

P.2	総括	※以降、シクロオレフィンポリマーはCOPと記載します。
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.12	高機能材料	P/L
P.15	高機能材料	セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業	：電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業	：化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材	P/L
P.22	エラストマー素材	セグメント別概況
P.23	エラストマー素材	：合成ゴムの状況
P.25	B/S概要	
P.26	C/F概要	
P.28	2025年度 業績予想のポイント	
P.29	2025年度 業績予想	
P.31	2025年度 株主還元予想	

2025年度通期予想

売上高
4,150億円
YoY▲1%

営業利益
305億円
YoY+4%

経常利益
300億円
YoY▲9%

親会社株主に帰属
する当期純利益
280億円
YoY+7%

▶ 当社の見通し

- ・売上高と営業利益は、最新の見込を精査のうえ、7月30日公開の業績予想を据え置く
 - ・セグメント別業績予想は、高機能材料を増収減益、エラストマー素材を減収増益に調整
 - ・経常利益と当期純利益は、継続して精査中
 - ・為替前提は円安方向に見直し。他方で、ユーティリティ設備の稼働に必要な燃料供給元の不具合により、代替燃料で工場を稼働することによる最大損失見込額として約10億円のコスト上昇を織り込み。
- お客様への製品供給には問題はない。損失削減策を検討中。

2025年度株主還元

配当額
72円/年

自己株式の取得
2025年度
1,000万株/100億円

▶ 配当金は年間72円を据え置く

▶ 自己株式の取得は1,000万株/100億円を上限に実施中

2025年度上期連結実績

売上高
2,065億円
YoY▲3%

営業利益
194億円
YoY+15%

経常利益
191億円
YoY+3%

親会社株主に帰属
する当期純利益
223億円
YoY+81%

▶ 増減の主要因

売上高：高機能材料は大型フィルムおよび電池材料の出荷増により増加

エラストマー素材は海外タイヤ市況の低調および原料価格下落による販売価格下落により減少

営業利益：エラストマー素材は出荷減の影響を受けるも、化成品の販売価格改定や大型フィルム、電池材料の出荷増により増加

経常利益：同上、ただし円高による為替差損の発生により、利益を押し下げる

当期純利益：投資有価証券売却益が増加

2025年度Q2連結実績

売上高
1,034億円
QoQ 0%

営業利益
72億円
QoQ▲40%

経常利益
72億円
QoQ▲40%

親会社株主に帰属
する当期純利益
148億円
QoQ+97%

▶ 増減の主要因

売上高：高機能材料は光学フィルムおよび電池材料の出荷増により増加

エラストマー素材は海外タイヤ市況の低調および原料価格下落による販売価格下落により減少

営業利益：エラストマー素材の出荷減、およびCOP出荷の下期ずれ込みや定期検査後立ち上げ時の費用増により減少

経常利益：同上

当期純利益：投資有価証券売却益が増加

① COP新プラント

- 2025年8月29日開催の取締役会において、投資総額を約700億円から約780億円に変更しました。
- 変更の理由は、労務費および材料費や物品費などの上昇により、建設費用の上振れが見込まれたためです。
- COP新プラントは、2024年6月11日開催の取締役会において建設決定をしましたが、その際には2025年4月25日に決定した3,000mm幅フィルムの新ライン増設は計画外でした。本ラインの増設により旺盛な需要に応え出荷を増やしていく、高機能樹脂事業全体の高い付加価値を維持します。

【高機能樹脂(COP+光学フィルム) の出荷量見込指数】

	2028年度	2030年度
2024年6月11日時点	113	118
2025年8月29日時点	124	136

*2026年度時点を100とした水島+周南新プラントの出荷量見込指数（COP換算）

② 次期成長ドライバーの進展

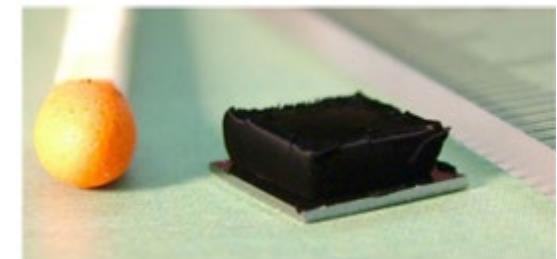
- 次世代リチウムイオン電池向けの単層カーボンナノチューブ（以下、SWCNT）を用いた導電ペーストを開発する台湾スタートアップSino Applied Technology Co., Ltd.（以下、SiAT社）に投資しました。
- SiAT社に取締役を1名派遣し、以下2点を支援します。
 - ・SWCNTを用いた導電ペーストのSiAT社の年間生産能力を5倍に拡大（5,000トン*⇒25,000トン）
 - ・連携によるマーケティング活動

*今後実施する能力増強分を含む

- 導電ペーストに当社のSWCNTを用いることの優位性
高い電気伝導性、機械的強度、化学的安定性を備え、電池のエネルギー密度とサイクル寿命を大幅に向上させる

■ 将来需要期待

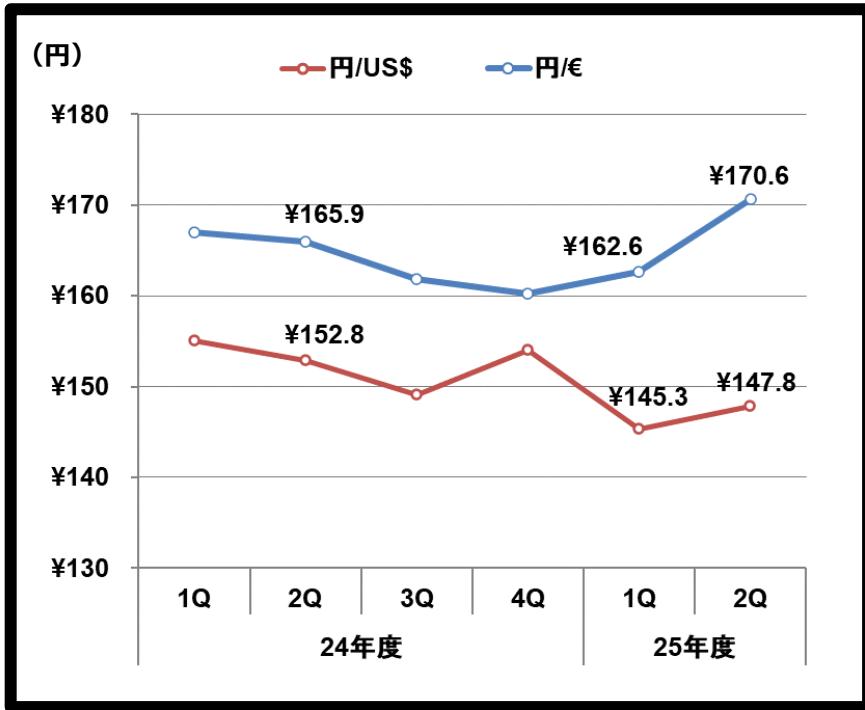
- 民生用途
 - ・電気自動車
 - ・ドローン
 - ・eVTOL航空機 (eVTOL: Electric Vertical Take-Off and Landing aircraft)
- 産業分野
 - ・AIサーバーBBU (BBU: Battery Backup Unit)
 - ・再生可能エネルギーESS (ESS: Energy Storage System)
 - ・自動化ロボティクス



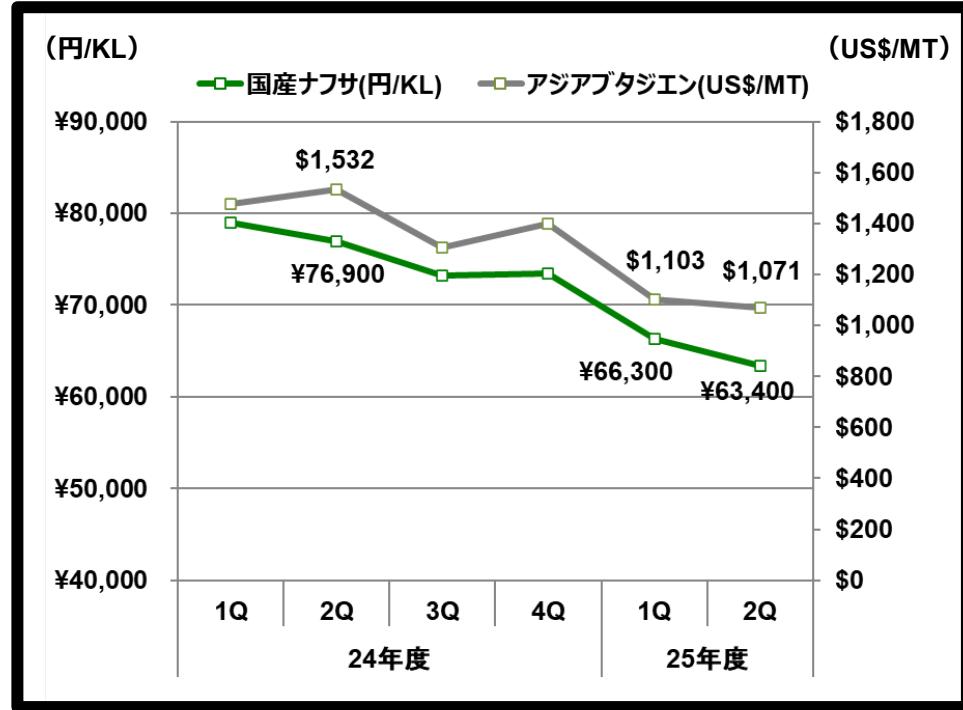
ゼオンのスーパーグロース法によるSWCNT

P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.8	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業 : COPの状況
P.17	高機能樹脂事業 : 光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業 : 電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業 : 化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材 P/L
P.22	エラストマー素材 セグメント別概況
P.23	エラストマー素材 : 合成ゴムの状況
P.25	B/S概要
P.26	C/F概要
P.28	2025年度 業績予想のポイント
P.29	2025年度 業績予想
P.31	2025年度 株主還元予想

【為替推移】



【主原料推移】



		2024年度 Q2	2025年度 Q1	2025年度 Q2	YoY 変化率	QoQ 変化率
為替	円/US\$	¥152.8	¥145.3	¥147.8	▲3%	+2%
	円/€	¥165.9	¥162.6	¥170.6	+3%	+5%
主原料	国産ナフサ/KL	¥76,900	¥66,300	¥63,400	▲18%	▲4%
	アジアブタジエン/MT	\$1,532	\$1,103	\$1,071	▲30%	▲3%

(単位：億円)

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2024年度 Q2累計	2025年度 Q2累計	対前年度
	2024年度 Q2	2025年度 Q1	2025年度 Q2	YoY 増減	QoQ 増減			YoY 増減
売上高	1,072	1,031	1,034	▲39	+3	2,133	2,065	▲69
営業利益	78	121	72	▲5	▲49	168	194	+25
経常利益	64	120	72	+8	▲48	186	191	+5
当期純利益	41	75	148	+107	+73	123	223	+100

- **前年同期比** : 売上高 ▲39億円、営業利益 ▲5億円
- **前期比** : 売上高 +3億円、営業利益 ▲49億円
- **前年度上期比** : 売上高 ▲69億円、営業利益 +25億円

*海外関係会社の2025年4～6月実績がQ2連結決算に反映されています。
2025年度より Zeon Korea Co., Ltd. が連結対象となりました。

(単位：億円)

【売上高】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期
	2024年度 Q2	2025年度 Q1	2025年度 Q2	YoY 増減	QoQ 増減
高機能材料	312	293	330	+18	+37
エラストマー素材	604	581	545	▲59	▲36
その他の事業、消去等	156	157	159	+3	+2
売上高合計	1,072	1,031	1,034	▲39	+3

【営業利益】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期
	2024年度 Q2	2025年度 Q1	2025年度 Q2	YoY 増減	QoQ 増減
高機能材料	55	74	43	▲12	▲30
エラストマー素材	22	42	23	+0	▲19
その他の事業、消去等	▲ 0	5	6	+6	+1
営業利益合計	78	121	72	▲5	▲49

2025年度上期 業績サマリー (セグメント別)

ZEON

(単位: 億円)

【売上高】	2024年度 上期	2025年度 上期予想	2025年度 上期	対前年 同期比	増減率	対上期 予想比	増減率
高機能材料	616	625	623	+7	+1 %	▲ 2	- %
エラストマー素材	1,207	1,150	1,125	▲ 81	▲ 7 %	▲ 25	▲ 2 %
その他の事業、消去等	311	325	316	+5	+2 %	▲ 9	▲ 3 %
売上高合計	2,133	2,100	2,065	▲ 69	▲ 3 %	▲ 35	▲ 2 %

【営業利益】	2024年度 上期	2025年度 上期予想	2025年度 上期	対前年 同期比	増減率	対上期 予想比	増減率
高機能材料	108	125	117	+9	+9 %	▲ 8	▲ 6 %
エラストマー素材	60	60	65	+5	+8 %	+5	+8 %
その他の事業、消去等	▲ 1	5	11	+12	- %	+6	+123 %
営業利益合計	168	190	194	+25	+15 %	+4	+2 %

P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.8	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業 : COPの状況
P.17	高機能樹脂事業 : 光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業 : 電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業 : 化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材 P/L
P.22	エラストマー素材 セグメント別概況
P.23	エラストマー素材 : 合成ゴムの状況
P.25	B/S概要
P.26	C/F概要
P.28	2025年度 業績予想のポイント
P.29	2025年度 業績予想
P.31	2025年度 株主還元予想

(単位：億円)

	2024年度 Q2	2025年度 Q1	2025年度 Q2	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	312	293	330	18	6 %	37	13 %
高機能樹脂	207	197	231	25	12 %	34	18 %
高機能バインダー材料	56	53	63	7	12 %	9	18 %
高機能ケミカル	40	33	32	▲ 9	▲ 22 %	▲ 1	▲ 4 %
メディカル他	10	10	4	▲ 5	▲ 54 %	▲ 6	▲ 56 %
営業利益	55	74	43	▲ 12	▲ 22 %	▲ 30	▲ 41 %
高機能樹脂	48	55	39	▲ 9	▲ 19 %	▲ 16	▲ 29 %
高機能バインダー材料	6	10	12	6	100 %	2	15 %
高機能ケミカル	2	8	▲ 1	▲ 3	▲ 142 %	▲ 9	▲ 110 %
メディカル他	▲ 1	1	▲ 6	▲ 6	- %	▲ 7	▲ 798 %
営業利益率	18%	25%	13%				

サブセグメント区分

高機能樹脂
高機能バインダー材料
高機能ケミカル

: COP、光学フィルム
: 電池材料、トナー
: 化学品、電子材料

(単位：億円)

	2024年度 Q2	2025年度 Q1	2025年度 Q2	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	312	293	330	18	6 %	37	13 %
高機能樹脂	207	197	231	25	12 %	34	18 %
高機能バインダー材料	56	53	63	7	12 %	9	18 %
高機能ケミカル	40	33	32	▲ 9	▲ 22 %	▲ 1	▲ 4 %
メディカル他	10	10	4	▲ 5	▲ 54 %	▲ 6	▲ 56 %
営業利益	55	74	43	▲ 12	▲ 22 %	▲ 30	▲ 41 %
高機能樹脂	48	55	39	▲ 9	▲ 19 %	▲ 16	▲ 29 %
高機能バインダー材料	6	10	12	6	100 %	2	15 %
高機能ケミカル	2	8	▲ 1	▲ 3	▲ 142 %	▲ 9	▲ 110 %
メディカル他	▲ 1	1	▲ 6	▲ 6	- %	▲ 7	▲ 798 %
営業利益率	18%	25%	13%				

海外関連会社の決算期ずれ
の影響を含む

サブセグメント区分

高機能樹脂
高機能バインダー材料
高機能ケミカル

: COP、光学フィルム
: 電池材料、トナー
: 化学品、電子材料

(単位：億円)

決算短信ベース の連結業績	2024年度 Q2	2025年度 Q1	2025年度 Q2	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	207	197	231	25	12 %	34	18 %
営業利益	48	55	39	▲ 9	▲ 19 %	▲ 16	▲ 29 %



期ずれがない 場合の連結業績	2024年度 Q2	2025年度 Q1	2025年度 Q2	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	199	214	204	5	3 %	▲ 9	▲ 4 %
営業利益	39	51	40	1	4 %	▲ 10	▲ 21 %

※期ずれとは、海外関連会社の決算期が3ヶ月ずれていることによる影響

Q2の場合、海外関連会社は4-6月実績が連結決算に反映される

※期ずれがない場合の連結業績（下表）は、海外関連会社が3ヶ月期ずれないと仮定した場合の理論値
(当社見積計算額)

高機能材料

売上高 **330** 億円 (YoY+6%、QoQ+13%)

営業利益 **43** 億円 (YoY▲22%、QoQ▲41%)

高機能樹脂

売上高 **231** 億円 (YoY+12%、QoQ+18%)

営業利益 **39** 億円 (YoY▲19%、QoQ▲29%)

期ずれがない場合の連結業績

売上高 **204** 億円 (YoY+3%、QoQ▲4%)

営業利益 **40** 億円 (YoY+4%、QoQ▲21%)

以下概況は
こちらをベースに
説明

■ YoY

中小型フィルムの需要前倒しおよびCOP出荷が下期へずれ込み出荷減となるも、大型フィルムの出荷増が貢献し、増収増益

■ QoQ

大型フィルムの出荷減およびCOP出荷が下期にずれ込み出荷減となり、さらに水島定検後立ち上げ等で費用が増加し、減収減益

高機能 バインダー材料

売上高 **63** 億円 (YoY+12%、QoQ+18%)

営業利益 **12** 億円 (YoY+100%、QoQ+15%)

■ YoY、QoQ

電池材料の出荷増、生産増により固定費単価が良化し増収増益

高機能ケミカル

売上高 **32** 億円 (YoY▲22%、QoQ▲4%)

営業利益 ▲1億円 (YoY▲142%、QoQ▲110%)

■ YoY、QoQ

合成香料市場の需給緩和状態が長期化し減収、YoYは水島定検に伴う出荷調整も影響出荷低調の影響に加えて、棚卸資産関連費用等が増加し減益

	YoY	QoQ	YoY累計 (4-9月)
連結売上高 (*)	▲	▲	▲
当社製品の販売動向	▲	▲	▲
	▲	▲	▲
	▲	▲	▲

(*) 期ずれがない場合

- 光学用途向け
スマホ向けが緩やかに調整に入り、出荷は一服
- 医療その他向け
一部顧客の在庫調整により、出荷が下期へずれ込む
- 半導体用途向け
出荷が下期にずれ込み一服となるも、需要は堅調

		YoY	QoQ	YoY累計 (4-9月)
連結売上高 (*)		↗	↘	↗
当社製品の 販売動向	中小型向け	↘	↗	↘
	大型向け	↗	↘	↗

(*) 期ずれがない場合

■ 中小型向け

タブレット向け、スマホ向けとともに需要期に入り出荷は堅調

25年モデル向け生産が24/4Qから始まり、一部出荷が前倒しになったことで、
需要期の盛り上がりは例年水準には及ばず

■ 大型向け

大型TV向けシェア拡大により総じて需要は堅調

パネル生産調整の影響を受け、QoQは出荷減となるも、Q3に回復の見込

	YoY	QoQ	YoY累計 (4-9月)
連結売上高	↗	↗	↗
当社製品の販売動向	↗	↘	↗
	↗	↗	↗

■ EV向け

欧州におけるEV販売は回復基調となり、YoYで出荷増
一方で、QoQは一部OEMの調整により出荷減

■ ESS・民生他向け

中国の補助金政策を背景に需要は堅調、また米国のAIデータセンター向け
ESSへの採用が拡大

	YoY	QoQ	YoY累計 (4-9月)
連結売上高	↓	↓	↓
当社製品の販売動向	↗	↗	↗
	↑	↓	↓

■ 半導体・医療向け

水島工場定期検査が完了し出荷は回復

旺盛な AI 関連投資を背景にメモリーや一部ロジック製品の需要は堅調

■ 香料向け

水島工場定期検査は完了

合成香料市場の需給緩和状態は長期化

P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.8	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業 : COPの状況
P.17	高機能樹脂事業 : 光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業 : 電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業 : 化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材 P/L
P.22	エラストマー素材 セグメント別概況
P.23	エラストマー素材 : 合成ゴムの状況
P.25	B/S概要
P.26	C/F概要
P.28	2025年度 業績予想のポイント
P.29	2025年度 業績予想
P.31	2025年度 株主還元予想

(単位：億円)

	2024年度 Q2	2025年度 Q1	2025年度 Q2	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量 (24/Q2=100)	100	97	85	▲ 15 pt	▲ 15 %	▲ 12 pt	▲ 13 %
合成ゴム	100	103	88	▲ 12 pt	▲ 12 %	▲ 15 pt	▲ 14 %
ラテックス	100	81	65	▲ 35 pt	▲ 35 %	▲ 17 pt	▲ 20 %
化成品	100	92	90	▲ 10 pt	▲ 10 %	▲ 2 pt	▲ 2 %
売上高	604	581	545	▲ 59	▲ 10 %	▲ 36	▲ 6 %
合成ゴム	451	445	424	▲ 27	▲ 6 %	▲ 21	▲ 5 %
ラテックス	41	35	27	▲ 15	▲ 35 %	▲ 8	▲ 23 %
化成品	99	90	86	▲ 13	▲ 14 %	▲ 4	▲ 4 %
その他・消去	12	12	8	▲ 4	▲ 32 %	▲ 3	▲ 28 %
営業利益	22	42	23	0	2 %	▲ 19	▲ 46 %
営業利益率	4%	7%	4%				

エラストマー素材

売上高 **545** 億円 (YoY▲10%、QoQ▲6%)

営業利益 **23** 億円 (YoY+2%、QoQ▲46%)

合成ゴム

売上高 **424** 億円 (YoY▲6%、QoQ▲5%)

■ YoY、QoQ

海外タイヤ向けを中心に市況低調による需要の伸び悩みに加え、原料価格下落による販売価格下落や為替円高の影響を受け減収減益

合成ラテックス

売上高 **27** 億円 (YoY▲35%、QoQ▲23%)

■ YoY、QoQ

医療・衛生用手袋の需給緩和状態の長期化に加え、原料価格下落による販売価格下落や為替円高の影響を受け減収減益
YoYは販管費減により増益

化成品

売上高 **86** 億円 (YoY▲14%、QoQ▲4%)

■ YoY、QoQ

海外の一部地域で粘着テープ・ラベル向けの需要の減退により減収
YoYは一部顧客の販売価格改定により増益、QoQは原料価格下落により販売価格は下落し、さらに水島工場の定期検査が完了し、生産ライン立ち上げ時の固定費単価悪化や良品外発生による棚卸資産関連費用の増加により減益

	YoY	QoQ	YoY累計 (4-9月)
連結売上高	98%	95%	96%
当社製品の 販売動向	特殊ゴム	➡	➡
	汎用ゴム	➡	➡

■ 特殊ゴム

国内向けの堅調な自動車生産に支えられ、総じて出荷は堅調

■ 汎用ゴム

海外を中心に市況は低調となり、YoY、QoQともに出荷減

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.12	高機能材料	P/L
P.15	高機能材料	セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業	：電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業	：化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材	P/L
P.22	エラストマー素材	セグメント別概況
P.23	エラストマー素材	：合成ゴムの状況
P.25	B/S概要	
P.26	C/F概要	
P.28	2025年度 業績予想のポイント	
P.29	2025年度 業績予想	
P.31	2025年度 株主還元予想	

総資産5,395億円 (+57)

【流動資産】

- ◆現預金 ▲176億円
- ◆売掛債権 +173億円
- ◆未収入金 ▲140億円
- ◆棚卸資産 ▲78億円
- ◆棚卸資産 ▲140億円

流動資産

2,805

(▲176)

【流動負債】

- ◆買入債務 +38億円
- ◆コマーシャルペーパー ▲83億円
- ◆未払金等 ▲170億円
- ◆未払金等 +290億円

流動負債

1,558

(+38)

固定負債 230 (▲8)

固定資産

2,590

(+233)

【固定資産】

- ◆有形固定資産 +233億円
- ◆投資有価証券 +309億円
- ◆投資有価証券 ▲77億円

純資産

3,608

(+28)

【純資産】

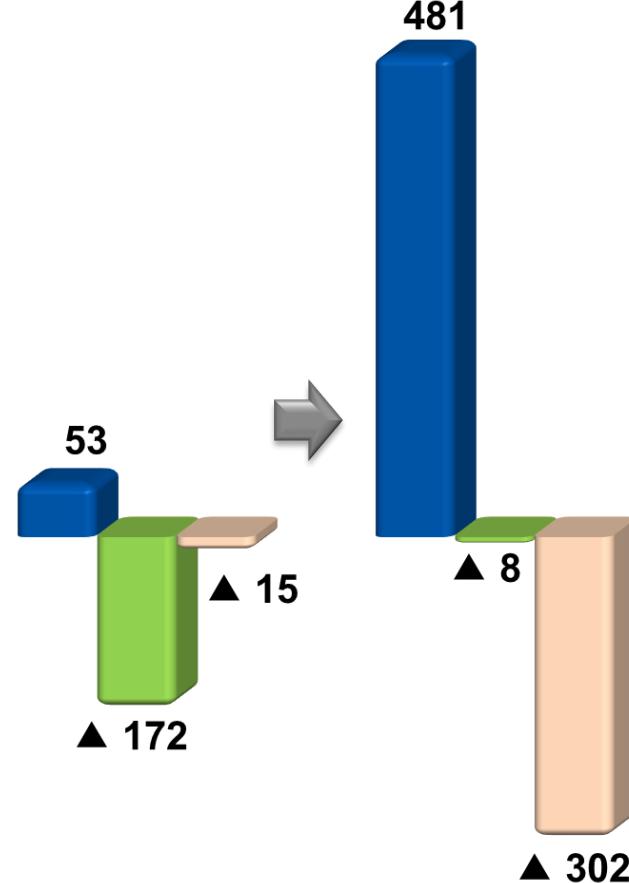
+28億円

- ◆自己資本比率 66.7% (▲0.2)
- ◆D/Eレシオ 0.02 (▲0.05)

(単位：億円)

2024年度Q2

2025年度Q2



■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

(単位：億円)

	2024年度Q2	2025年度Q2
営業CF	53	481
投資CF	▲ 172	▲ 8
フリーキャッシュフロー (FY-CF)	▲ 119	473
財務CF	▲ 15	▲ 302
CF	▲ 134	171

【営業CF】

- ◆ 税前利益 +428億円
- ◆ 税金 +161億円
- ◆ 減価償却費 +53億円
- ◆ 運転資金 ▲12億円
- ◆ 修繕引当金 +451億円
- ◆ 投資有価証券売却益 ▲73億円
- ◆ 投資有価証券売却益 ▲167億円
- ◆ その他 +15億円

【財務CF】

- ◆ 資金調達 ▲287億円
- ◆ 配当金 ▲320億円
- ◆ 自己株式取得・信託設定 ▲16億円
- ◆ 自己株式取得・信託設定 +40億円
- ◆ その他 +9億円

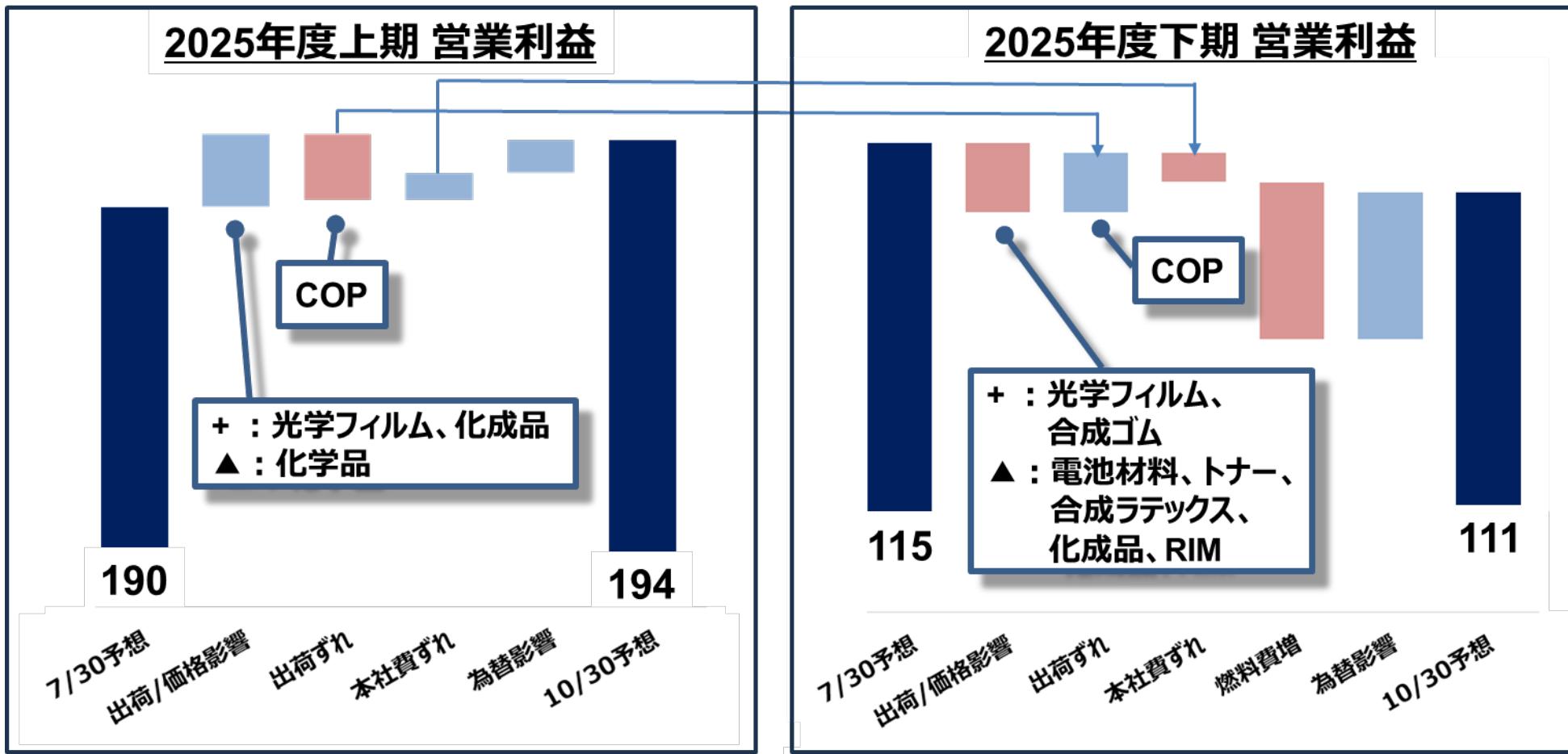
P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.8	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業 : COPの状況
P.17	高機能樹脂事業 : 光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業 : 電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業 : 化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材 P/L
P.22	エラストマー素材 セグメント別概況
P.23	エラストマー素材 : 合成ゴムの状況
P.25	B/S概要
P.26	C/F概要
P.28	2025年度 業績予想のポイント
P.29	2025年度 業績予想
P.31	2025年度 株主還元予想

2025年度 業績予想のポイント

ZEON

(単位: 億円)

* 水色が増加、桃色が減少



*増減影響の幅はイメージ図

- 光学フィルムは上期、下期ともに出荷増、COP出荷は上期から下期へ出荷ずれ
- 下期エラストマー素材は合成ゴムが出荷増となるも、合成ラテックス、化成品が出荷減となり相殺
- 燃料供給不具合により代替燃料使用による費用増が発生、為替前提は円安に見直し

2025年度 業績予想

ZEON

(単位：億円)

【売上高】	業績予想 (25/7/30時点)			業績予想 (25/10/30時点)			上期 差異	下期 差異	年間 差異
	上期	下期	年間	上期	下期	年間			
高機能材料	625	575	1,200	623	602	1,225	▲ 2	+27	+25
エラストマー素材	1,150	1,140	2,290	1,125	1,140	2,265	▲ 25	0	▲ 25
その他の事業、消去等	325	335	660	316	344	660	▲ 9	+9	0
売上高合計	2,100	2,050	4,150	2,065	2,085	4,150	▲ 35	+35	0

【営業利益】	業績予想 (25/7/30時点)			業績予想 (25/10/30時点)			上期 差異	下期 差異	年間 差異
	上期	下期	年間	上期	下期	年間			
高機能材料	125	80	205	117	83	200	▲ 8	+3	▲ 5
エラストマー素材	60	20	80	65	20	85	+5	0	+5
その他の事業、消去等	5	15	20	11	9	20	+6	▲ 6	0
営業利益合計	190	115	305	194	111	305	+4	▲ 3	0

- ・7/30業績予想から合計に変更はなし、セグメント別は入り組みを調整
- ・7/30予想前提：US\$=145円、€=170円、国産ナフサ/KL=¥63,000、アジアブタジエン/MT=US\$1,100
- ・10/30予想前提：US\$=149円、€=175円、国産ナフサ/KL=¥65,000、アジアブタジエン/MT=US\$1,000
- ・営業利益への為替影響（年間）は、1円/US\$：約3億円、1円/€：約2億円、円安により増加

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.12	高機能材料	P/L
P.15	高機能材料	セグメント別概況
P.16	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.18	高機能バインダー材料事業	：電池材料の状況
P.19	高機能ケミカル事業	：化学品・電子材料の状況
P.21	エラストマー素材	P/L
P.22	エラストマー素材	セグメント別概況
P.23	エラストマー素材	：合成ゴムの状況
P.25	B/S概要	
P.26	C/F概要	
P.28	2025年度 業績予想のポイント	
P.29	2025年度 業績予想	
P.31	2025年度 株主還元予想	

株主還元方針

- 1 配当のKPIとしてDOEを採用し、
DOE4%以上とする

- 2 自己株式取得（計画）

24年度-26年度

400億円

- 2024年度 200億円（完了）
- 2025年度 100億円（実施中）
- 2026年度 100億円（見込）



- 配当金は年間72円予想を据え置く（YoY+2円）
- 年間配当額は2010年度から16期連続増配予想
- 1,000万株/100億円を上限に、自己株式の取得を実施中

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

**2025年度
Q3決算発表**

2026年1月30日を予定

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

以 上

**統合報告書2025年度版
を発行しました
こちら**

(単位：億円)

2023年度 2024年度 2025年度 2025年度

	Q1	Q2	
売上高	3,823	4,206	1,031
高機能材料事業	1,074	1,216	293
高機能樹脂	642	793	197
高機能バインダー材料	234	225	53
高機能ケミカル	156	158	33
メディカル他	43	39	10
エラストマー素材事業	2,153	2,366	581
合成ゴム	1,642	1,769	445
ラテックス	109	142	35
化成品	350	403	90
その他・消去	52	52	12
その他の事業、消去等	596	625	157
			159

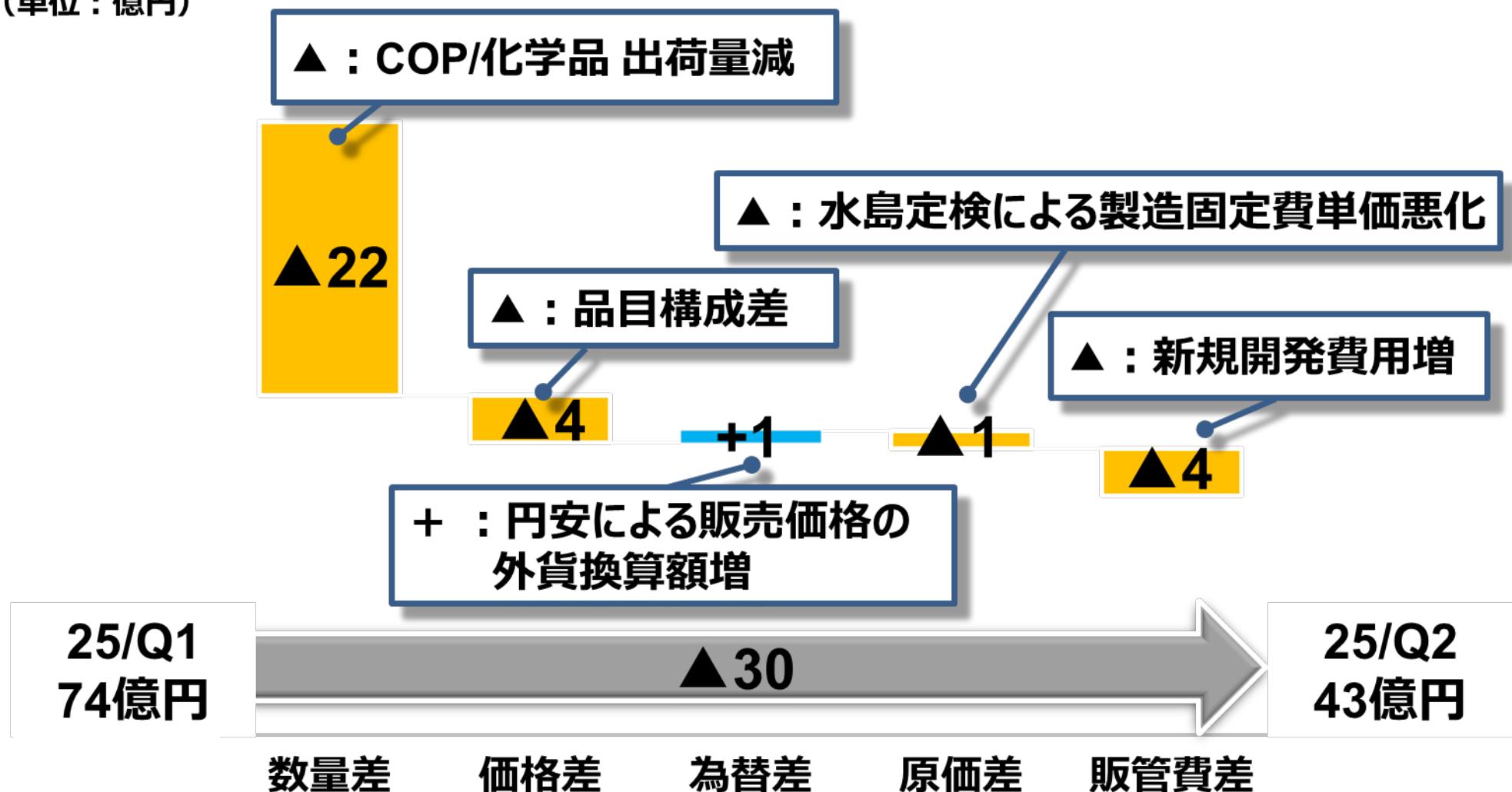
2023年度 2024年度 2025年度 2025年度

	Q1	Q2	
営業利益	205	293	121
高機能材料事業	132	176	74
高機能樹脂	73	139	55
高機能バインダー材料	44	22	10
高機能ケミカル	21	19	8
メディカル他	▲ 5	▲ 4	1
エラストマー素材事業	66	109	42
			23

その他の事業、消去等	6	8	5	6
-------------------	----------	----------	----------	----------

参考：高機能材料事業：要因別 営業利益差異 (QoQ) ZEON

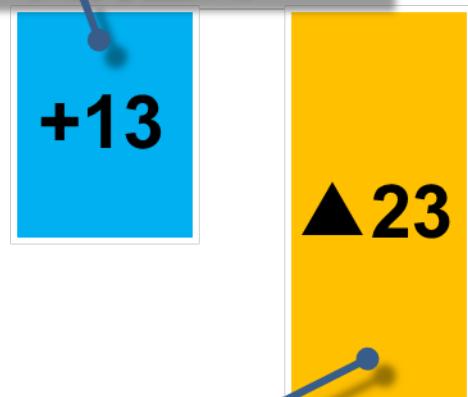
(単位：億円)



参考：高機能材料事業：要因別 営業利益差異 (YoY) ZEON

(単位：億円)

+ : 電池材料 出荷量増
▲ : COP 出荷量減



入り組み

▲ : 電池材料 品目構成差

+ : 円高による販売価格の外貨換算額減

▲4



+ : コストダウン
▲ : 人件費等上昇

+ : 原料価格下落、製造固定費単価良化

24上期
108億円

+9

25上期
117億円

数量差 価格差 為替差 原価差 販管費差

参考：エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (QoQ) ZEON

(単位：億円)

▲：合成ゴム/化成品 出荷量減

▲17

▲：原料価格に応じた販売価格下落

▲18

+ : 円安による販売価格の
外貨換算額増

+3

+ : 出荷減による販直費減
コストダウン 等

+8

+ : 原料価格下落
▲ : 製造固定費単価悪化

+5

▲19

25/Q1
42億円

25/Q2
23億円

数量差

価格差

為替差

原価差

販管費差

(単位：億円)

▲：合成ゴム 出荷量減

▲：原料価格に応じた
販売価格下落

+：出荷減による販直費減
コストダウン等

+8

▲6

▲14

+30

▲：円高による販売価格の
外貨換算額減

▲13

+：原料価格下落

24上期
60億円

+5

25上期
65億円

数量差

価格差

為替差

原価差

販管費差

参考：営業外損益、特別損益

ZEON

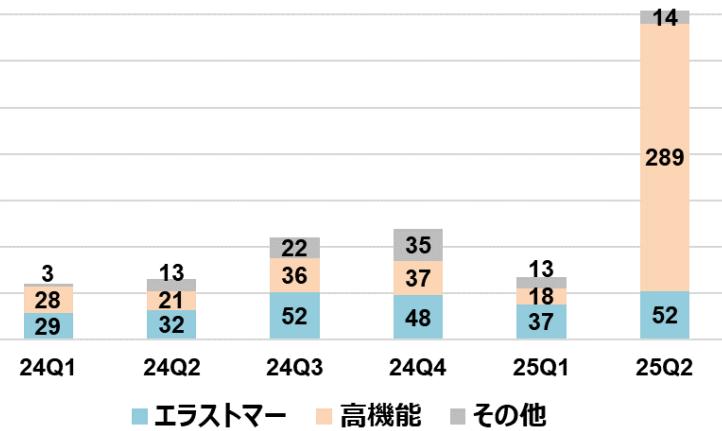
(単位：億円)

【営業外損益】	2024年度 上期	2025年度 上期	YoY 増減
受取利息・配当金	16	17	+1
支払利息	▲ 1	▲ 1	-
寄付金	▲ 3	▲ 1	+2
休止資産固定費	▲ 3	▲ 2	-
貸倒引当金繰入額	▲ 2	▲ 3	▲ 1
為替差損益	7	▲ 6	▲ 13
その他	4	▲ 5	▲ 8
営業外損益合計	18	▲ 2	▲ 20

【特別損益】	2024年度 上期	2025年度 上期	YoY 増減
投資有価証券売却損益	2	169	+167
減損損失	▲ 15	▲ 11	+4
固定資産処分損	▲ 1	▲ 3	▲ 2
投資有価証券評価損	▲ 7	▲ 21	▲ 14
その他	▲ 1	0	+1
特別損益合計	▲ 22	133	+155

(単位：億円)

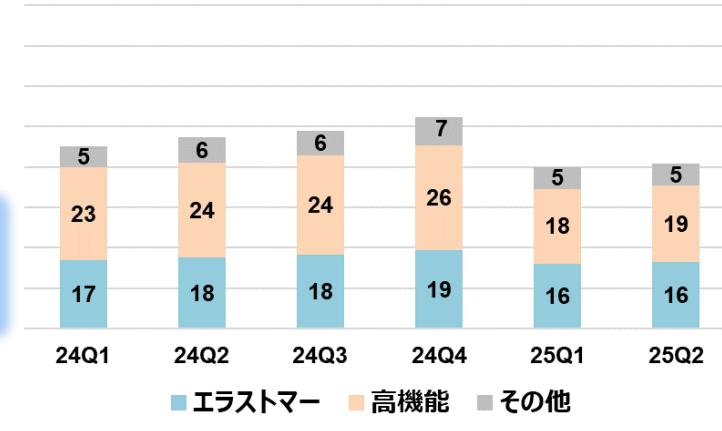
【資本的支出】



24年度実績
355億円

25年度予想
800億円

【減価償却費】



24年度実績
194億円

25年度予想
170億円

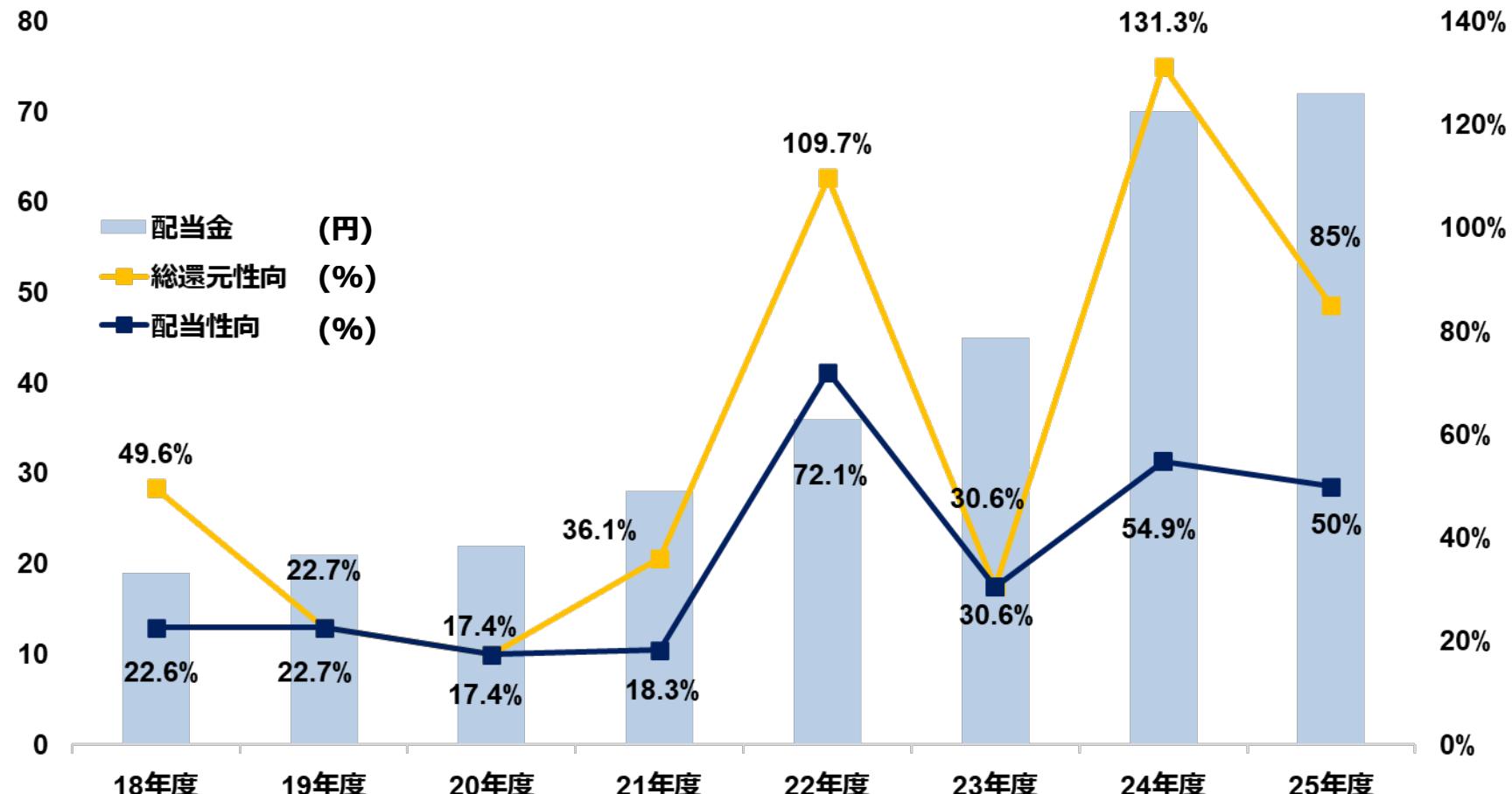
【研究開発費】

24年度実績
182億円

25年度予想
170億円

(単位：円)

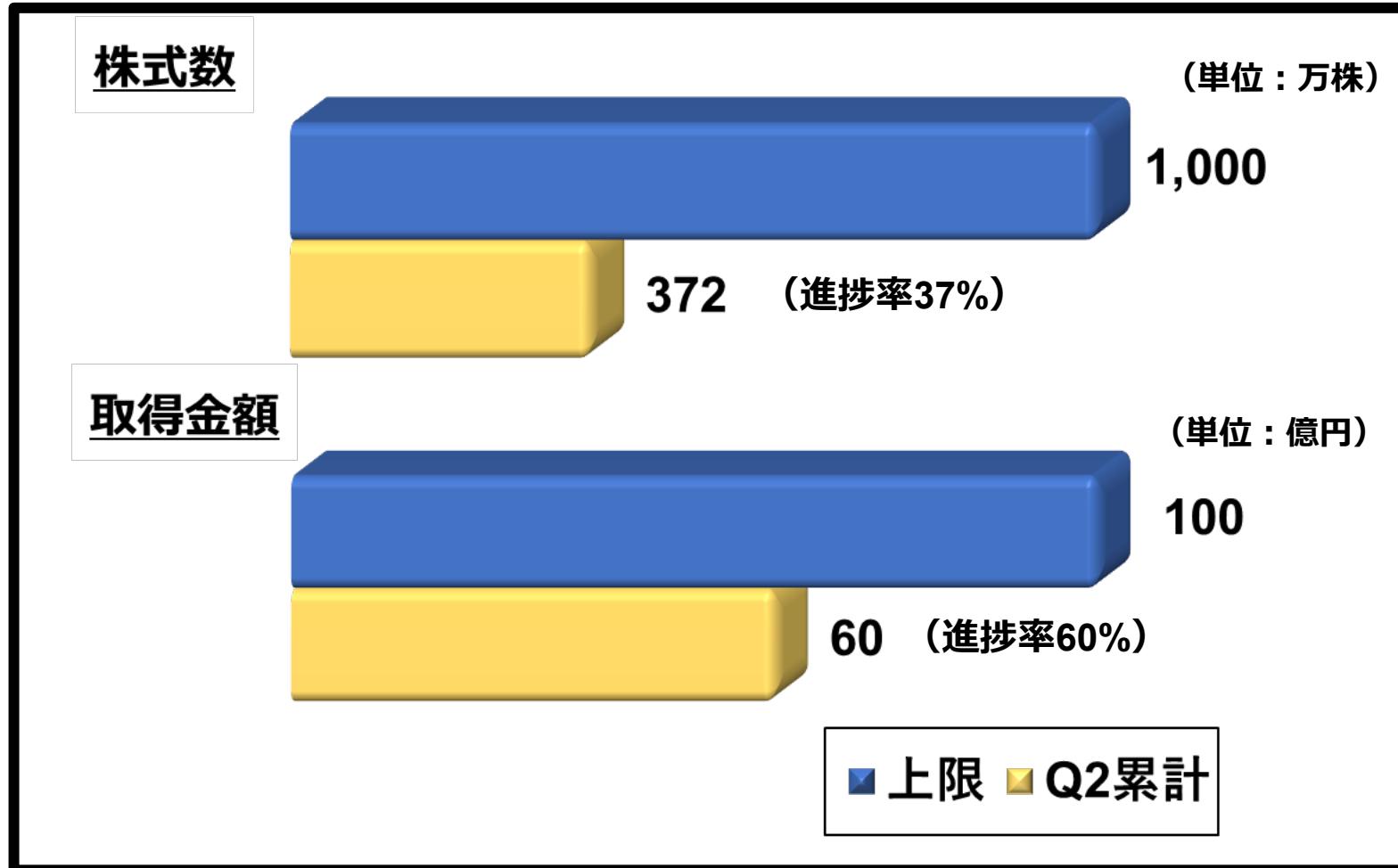
(単位：%)



■配当利回りは4.43%（2025年10月28日終値ベース）

- 1,000万株/100億円を上限に自己株式の取得を実施しています。
- 取得後の全株式について消却を決定済です。

【2025年9月30日時点取得状況】



アップサイド

エンドマーケット需要回復の早期化

為替の円安化

市況回復の早期化

円安ドル高

景気回復

円安ユーロ高

ダウンサイド

エンドマーケット需要低迷の長期化

為替の円高化

市況回復の長期化

円高ドル安

景気悪化

円高ユーロ安